

市町村名		石垣市					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- 大浜地区歴史遺産活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)-ア		
	教育部 文化財課		事業実施(予定)年度	平成25~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	
担当部課名						- 1 - (1)	
事業内容	国指定史跡フルスト原遺跡をはじめとする多様な歴史遺産について市民が学べる機会を確保すると共に観光資源としての活用を図るため、歴史広場の整備を行う。						
効果発現年度	当年度		後年度(R2年度)				
実施方法	直接実施		委託	補助	負担	その他()	
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		28年度	H29年度	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度
		(a)当初予算額	5,950		20,400	-	
		(b)予算現額	5,950		39,394	-	
		(c)増減額(b-a)	0		18,994	-	
		(d)繰越額	-		-	38,894	
	A.計(b+d)		5,950		39,394	38,894	
	B.執行済額		5,255		0	38,014	
	うち交付金充当額		4,204		0	30,411	
	次年度繰越額		0		38,894	-	
	執行率(%) (B/A)		88.3%		0.0%	97.7%	
予算の状況の説明		増額補正については、アクセスルートの見直しに伴う水道管の敷設ルートの変更及び入域観光客の増加により施設の規模を拡大する必要が生じたことによるものである。 また、設計変更及び建築確認変更申請に不測の日数を要したため工事にかかる38,894千円を翌年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	トイレ・東屋の建築(各1棟)	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	・トイレ、東屋の新築工事を実施し、各1棟の整備を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
	トイレ、東屋の建築完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	[R2成果目標] 地元のエコツーリズム団体や企業OB会等が実施する遺跡見学会の参加者数:200人以上	目標	()	()	()	()	(200人)
実績							
進捗状況説明	・トイレ、東屋の建築が完了したことから、整備後の歴史広場における利用者の利便性向上に繋がっていくことができた。歴史広場整備については、駐車場及び芝生広場の整備をもって整備完了の予定である。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・歴史広場の整備について、駐車場整備については近隣への影響をさけるため、整備地内での雨水処理対策を行う必要があるほか、芝生広場整備については隣接する国指定史跡フルスト原遺跡等における植生を考慮した植栽等を行う必要がある。</p>	<p>・整備地内における雨水対策ならびに周辺環境に適した樹木の選定等を検討する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・駐車場整備については整備地内での雨水処理を講ずるほか、整備地周辺と調和のとれた植栽及び芝生広場整備を行い、魅力ある空間づくりに取り組む。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	38,014	38,014	30,411	7,603	
<pre> graph LR A[石垣市 38,014千円] --> B[委託料 1,210千円] A --> C[工事請負費 36,804千円] B --> D[石堂設計室 1,210千円] C --> E["(有)金城建設 36,804千円"] D --- F["大浜地区歴史遺産広場トイレ・東屋新築 工事監理業務委託"] E --- G["大浜地区歴史遺産広場トイレ・東屋新築 工事"] </pre>					
資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
-		支出先の選定方法は妥当か。	<p>工事事業者は市の規則による指名競争入札で選定されているため、妥当と考えている。 予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>		
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
		受益者との負担関係は妥当であるか。			
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名		石垣市					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	旧空港跡地環境影響評価事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	建設部 都市建設課		事業実施(予定)年度	平成24~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 -1-(1)	
事業内容	円滑な都市計画決定、事業認可につなげ、跡地の早期利用を図るため、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。						
効果発現年度	当年度		後年度(R3年度)				
実施方法	直接実施		委託	補助	負担	その他()	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度
		(a)当初予算額	50,000	-	56,989	-	
		(b)予算現額	32,932	-	52,446	-	
		(c)増減額(b-a)	17,068	-	4,543	-	
		(d)繰越額	-	32,932	-	52,446	
	A.計(b+d)	32,932	-	52,446	52,446		
	B.執行済額	0	32,932	0	52,446		
	うち交付金充当額	0	26,345	0	41,956		
	次年度繰越額	32,932	-	52,446	-		
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%		
予算の状況の説明	平成30年度は、環境影響評価方法書手続きに関する現況調査のための沖縄県環境政策課及び沖縄県環境影響評価審査会との県環境影響評価条例に基づく協議・調整により、事業スケジュールに変更等が生じたことから年度内での完了が困難となったため、環境影響評価作業にかかる委託料52,446千円を翌年度に繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	方法書に基づく現況調査の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	沖縄県環境影響評価条例に基づき、下記のとおり環境影響評価方法書に基づく現況調査を実施、完了した。 現況調査(春・夏・秋・冬)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	方法書に基づく現況調査完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	[R3成果目標] 旧空港跡地約50haの有効活用	目標	()	()	()	()	(約50ha)
		実績					
進捗状況説明	環境アセスメントの実施について、方法書に基づく現況調査で地下水調査及び水質調査を実施したが、当初計画していた調査地点においては十分な調査結果を得ることができなかったため、調査地点を変更し、再度、調査を行うこととなったが、春、夏、秋、冬の全ての現況調査を完了させることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・空港跡地の土地利用をするためには、空港跡地土地区画整理事業の都市計画決定が必要であり、その前提となる環境影響評価作業を終了させる必要がある。</p> <p>・都市計画決定は令和2年度末の予定であり、環境影響評価に遅れが生じると都市計画決定及び空港跡地の土地利用が遅れ、まちづくりに重大な影響を及ぼすおそれがある。</p>	<p>・現況調査を踏まえ、沖縄県等関係機関との協議等を緊密に進め、速やかに予測評価及び準備書作成に取り組むとともに、空港跡地土地区画整理事業導入にあたって実施中の他業務との連携及び協議等を十分に行っていく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・令和2年度末予定の都市計画決定に向けて、準備書作成、公告、縦覧、住民説明会等を速やかに進め、沖縄県及び沖縄県環境影響評価審査会と緊密に協議を行い、評価書作成に取り組むこととする。併せて、都市計画決定にかかる空港跡地土地区画整理事業については、旧石垣空港跡地利用連絡協議会等の関係機関との調整を十分に行い、本事業と連携して進めていくこととする。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	52,446	52,446	41,956	10,490	0
<pre> graph LR A[石垣市 52,446千円] --> B[委託料 52,446千円] B --> C["(株)パスコ沖縄支店 52,446千円"] </pre> <p>(旧空港跡地土地区画整理事業に係る環境影響評価方法書作成及び現地調査業務委託)</p>					
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当である。</p> <p>予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。</p> <p>費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>		
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名		石垣市									
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	2-	新港地区国際クルーズ船寄航誘致支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ						
担当部課名	建設部 港湾課	事業実施(予定)年度	平成24~令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開						
事業内容	大型クルーズ船寄港誘致のため、石垣港に寄港するクルーズ船の接岸の際に利用するトイレや屋根付きの導線を整備する。										
効果発現年度	当年度		後年度(R3年度)								
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H25年度		H26年度		H29年度		H30年度		H30年度(繰越)	
		(a)当初予算額	6,000	6,000	6,000	8,000	124,500	-			
		(b)予算現額	6,000	6,000	8,000	129,500	-				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	5,000	-				
		(d)繰越額	-	-	-	-	25,774				
	A.計(b+d)		6,000	6,000	8,000	129,500	25,774				
	B.執行済額		2,100	4,600	6,093	92,077	4,296				
	うち交付金充当額		1,680	3,680	4,874	73,661	3,436				
	次年度繰越額		0	0	0	25,774	-				
	執行率(%) (B/A)		35.0%	76.7%	76.2%	71.1%	16.7%				
予算の状況の説明		増額補正については、屋根付き歩道整備にかかる工事請負費の増額によるものである。繰越については、クルーズ船乗客の導線を踏まえて、クルーズ船関係者等と協議した結果、観光客の利便性をより向上させるため、屋根付き歩道の設置箇所を見直すこととなり、設計の変更が生じたほか、エプロンルーフ整備にかかる牽引車両について納期遅延が生じたことから、屋根付き歩道整備にかかる工事費及び牽引車両導入にかかる備品購入費の25,774千円を翌年度に繰越した。									
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況								
			H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		
	トイレの整備	目標	()	()	実施	()	()	()	()		
		実績			実施						
	屋根付き歩道の一部整備	目標	()	()	一部整備	()	()	()	()		
		実績			未整備						
	エプロンルーフ(移動式筒型通路)の整備	目標	()	()	実施	()	()	()	()		
		実績			実施						
	[H29活動目標]	目標	()	実施	()	()	()	()			
	屋根付き歩道の実施設計	実績		実施							
[H29活動目標]	目標	()	実施	()	()	()	()				
トイレの実施設計	実績		実施								
達成状況説明	・クルーズ船乗客の利便性を向上させるため、トイレ建設、エプロンルーフ整備を実施し、完了させることができた。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R3年度)				
	トイレ建築工事の完了	目標	()	()	完了	()	()				
		実績			完了						
	屋根付き歩道の一部整備完了	目標	()	()	一部整備完了	()	()				
		実績			未整備						
	エプロンルーフの整備完了	目標	()	()	完了	()	()				
		実績			完了						
	[H29成果目標]	目標	()	完了	()	()	()				
	屋根付き歩道の実施設計	実績		完了							
	[H29成果目標]	目標	()	完了	()	()	()				
トイレの実施設計	実績		完了								
[R3成果目標]	目標	()	()	()	()	(80%)					
利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証	実績										
進捗状況説明	・トイレの建築及びエプロンルーフの整備が完了したことから、クルーズ船乗客の利便性向上に繋げることができた。屋根付き歩道については、導入する製品の仕様に関して、検討を要する必要があることから、当該年度事業での整備を見合わせるようになった。										

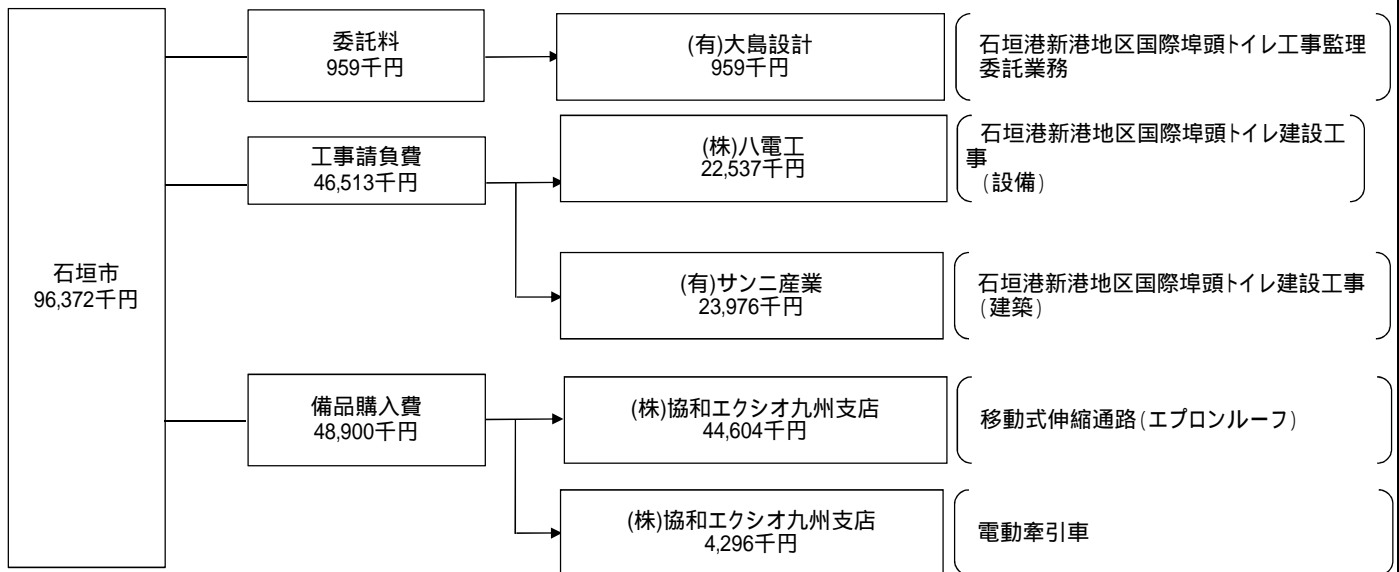
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・エプロンルーフの活用により、炎天下や雨天時などでの移動の利便性向上に繋がっている一方で、タクシー乗り場等では、現時点において屋根付き歩道が未整備であるため、乗客に不便を生じさせているところがある。	・住民のニーズや交通機関からの要望等を踏まえつつ、クルーズ船の寄港に向けて整備する。 ・クルーズ船関係者や公共交通機関等からの要望等を踏まえ、国際条約の範囲内において、クルーズ船受入及び誘致に向けた施設整備に引き続き取り組んでいく必要がある。

今後の取り組み方針

・クルーズ船乗客のニーズを把握し、動線等をより考慮したうえで、利便性の向上のため適切な規模の施設整備に早急に取り組むこととする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
96,372	96,372	77,097	19,275	0



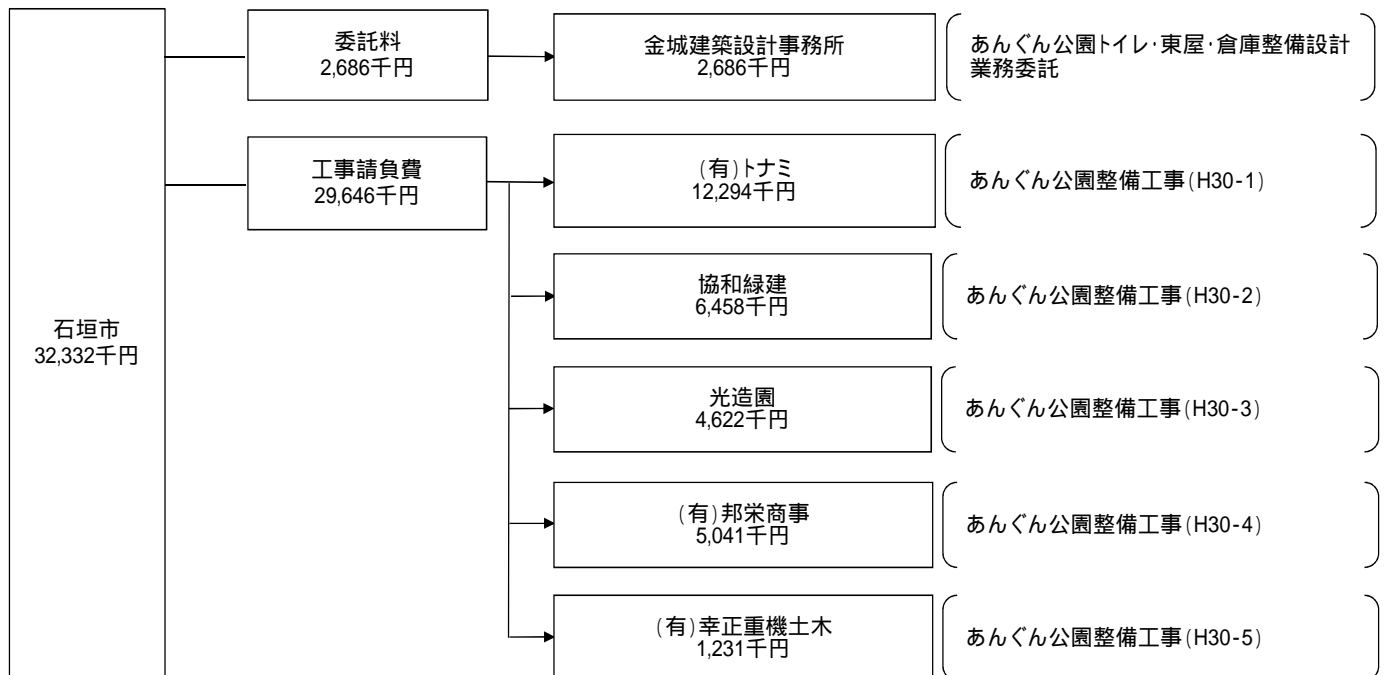
資金の流 れ、費 目 ・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	工事事業者は市の規則による指名競争入札で選定されているため、妥当と考えている。 予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市									
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	2- 亜熱帯都市公園整備促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-ア						
	担当部課名	建設部 都市建設課		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり				
事業内容		市民や観光客等の利便性の確保を図るため、石垣市特有の街区公園の整備を行う。					- 1 - (1)				
	効果発現年度	当年度		後年度(R2年度)							
実施方法	直接実施		委託	補助	負担	その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度		H29年度		H29年度(繰越)		H30年度		H30年度(繰越)	
		(a)当初予算額	66,500	4,500	-	34,000	-				
		(b)予算現額	50,000	4,500	-	34,000	-				
		(c)増減額(b-a)	16,500	0	-	0	-				
		(d)繰越額	-	-	4,500	-	29,324				
		A.計(b+d)	50,000	4,500	4,500	34,000	29,324				
		B.執行済額	41,176	0	4,047	4,677	27,655				
		うち交付金充当額	32,941	0	3,238	3,741	22,124				
		次年度繰越額	0	4,500	-	29,324	-				
		執行率(%) (B/A)	82.4%	0.0%	89.9%	13.8%	94.3%				
予算の状況の説明		建築設計業務において、便施設排水接続について道路管理者との調整に不測の日数を要したことから年度内に完了することが困難となり繰り越すこととなった。最終的な執行率は94.3%となり、主に工事請負費の執行残によるものである。									
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況									
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度						
	あんぐん公園の整備工事	目標	(実施)	()	()	()					
		実績	実施								
	あんぐん公園の便益・管理・休養施設の設計業務	目標	(実施)	()	()	()					
		実績	実施								
達成状況説明	平成29年度(繰越)に公園整備における調査設計業務を完了し、平成30年度に公園整備工事(第1期工事)を完了した。また、公園内における便益・管理・休養施設の実施設計業務を完了した。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)					
		目標	()	(完了)	()	()	()				
	あんぐん公園の整備工事の完了	実績		完了							
		目標	()	(完了)	()	()	()				
	あんぐん公園の便益・管理・休養施設の設計業務の完了	実績		完了							
		目標	()	()	()	()	(80%)				
[R2成果目標] 街区公園として利用されているか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証	実績										
進捗状況説明	あんぐん公園整備工事については、第1期工事の完了により、第2期工事の実施に繋げることができた。また、便益・管理・休養施設については、地域住民と協議を行い、必要最小限の範囲での設備、規模となるよう検討を進め、実施設計を完了することができた。										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・あんぐん公園では、地域の神行事や祭礼、豊年祭等地域行事が行われているほか、公園内にある拝殿や景観等に考慮する必要がある。</p>	<p>・あんぐん公園整備にあたっては、地域行事の時期や地域の特徴にあった整備を進めていくため、地域住民や関係機関とも緊密に情報交換を行いながら、地域からの要望、意見の把握に努め、工事の実施時期等について検討を行う必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・あんぐん公園整備については、公園利用者の利便性の向上および魅力ある空間の提供に繋げていくため、引き続き、地域住民などからの意見を聴取し、公園利用に支障がないよう第2期工事及び施設整備に取り組むこととする。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
32,332	32,332	25,865	6,467	0



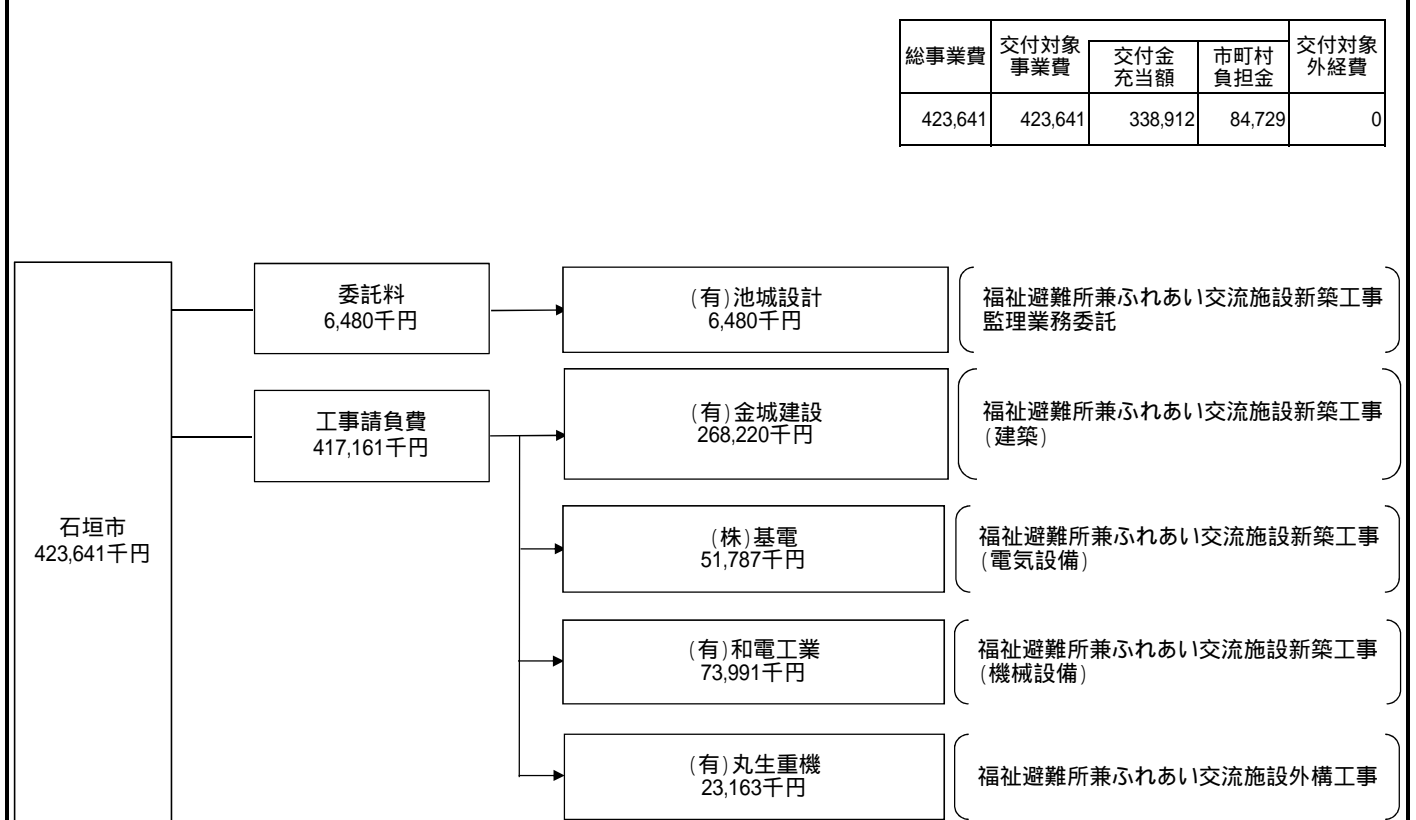
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>工事事業者は市の規則による指名競争入札で選定されているため、妥当と考えている。 予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市									
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	6-	福祉避難所兼ふれあい交流施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ						
担当部課名	福祉部 福祉総務課		事業実施(予定)年度	平成24~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 -10-(2)					
事業内容	災害時において、高齢者や障がい者等の要援護者が、安心・安全に避難生活がおくれるように配慮した「福祉避難所」の整備を行う。										
効果発現年度	当年度		後年度(R1年度)								
実施方法	直接実施		委託	補助	負担	その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度		H29年度		H30年度		H30年度(繰越)		R1年度	
		(a)当初予算額	318,000			590,000	-				
		(b)予算現額	14,500			432,369	-				
		(c)増減額(b-a)	303,500			157,631	-				
		(d)繰越額	-			-		279,615			
		A.計(b+d)	14,500			432,369		279,615			
		B.執行済額	13,480			152,754		270,887			
		うち交付金充当額	10,784			122,203		216,709			
		次年度繰越額	0			279,615		-			
		執行率(%) (B/A)	93.0%			35.3%		96.9%			
予算の状況の説明	減額補正については、建設工事費等の入札執行残によるものである。 繰越については、台風等の影響により建設工事の中断が生じ工程に遅れが生じたため、年度内の完了が困難となったことから、建設工事費等279,615千円を翌年度に繰越した。										
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況								
				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	福祉避難所兼ふれあい交流施設の施設整備(建築工事)	目標	(実施)	()	()	()	()				
		実績	実施								
		目標	()	()	()	()	()				
	実績										
達成状況説明	・基本設計、実施設計に基づき、建築工事、機械工事、電気工事、外構工事を完了した。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R1年度)				
	福祉避難所兼ふれあい交流施設の建築工事完了	目標	()	(完了)	()	()	()				
		実績		完了							
	[R1成果目標] 本施設を活用した避難訓練の実施(1回/年)の際に、要援護者が避難所として活用できるかを市と関係団体で協議し、本施設のあり方を検証	目標	()	()	(1回/年)	()	(1回/年)				
		実績			1回/年						
[R1成果目標] 本施設を活用した市民等の交流を図るイベント(18回/年)を開催	目標	()	()	(18回/年)	()	(18回/年)					
	実績			34回/年							
進捗状況説明	施設建設については、令和元年度8月中で整備が完了し、同年8月30日から供用が開始されている。 ・本施設を活用した避難訓練の実施については、令和元年9月1日に防災訓練を実施し、要援護者が避難所として活用できるかについて検証を行った。 ・本施設を活用した市民等の交流を図るイベントについては、18回/年の目標に対して、供用開始から7ヶ月間で目標を上回る34回の開催実績となった。										

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(避難訓練を通じた本施設のあり方) ・災害時用資器材について、要援護者にとって、より利便性の高い資器材を設置するほか、十分な量の備蓄食糧を確保しておく必要がある。 ・災害時におけるトリアージ等、受入体制を構築する必要がある。	(避難訓練を通じた本施設のあり方) ・訓練を重ねていくことにより、要援護者に適切な資器材ならびに避難に要する物資や備蓄食糧の所要数を把握し、確保に向けた検討を行う。 ・防災をはじめ、障がい者、高齢者等の各分野の専門家などの意見を聴取するとともに、医療や介護を必要とする要援護者の受入についての検討を行う。
	(市民等の交流を図るイベント) ・児童から高齢者まで幅広い世代による施設利用があり、世代間交流等が図られているものの、一定の利用者及び団体にとどまっているところがある。	(市民等の交流を図るイベント) ・各福祉団体間においては、施設整備前と比べ、相互協力、連携強化に繋がっている面がある。施設機能については、1階部分と駐車場間の出入り(往来)が容易であること、屋上の有効活用も図れることなどから、施設の活用方法を拡充していくことができるものと考えられる。

今後の取り組み方針	
(避難訓練を通じた本施設のあり方) ・要援護者の受入が円滑に確保できるよう、訓練参加者等の意見、要望を踏まえて、緊急時において必要な物資の規模及び量の確保に取り組む。 ・福祉避難所としての機能をより高めていくため、各分野の専門家、医療機関、介護事業者等とのネットワークを構築し、要援護者の受入にかかる体制強化に向けて取組を行う。	
(市民等の交流を図るイベント) ・本施設の利活用にあたっては、各福祉団体の協力ならびに近隣の保育所(園)、小中学校、高等学校、公民館等との連携を一層図りながら、交流活動を展開するとともに、本施設が市民にとって、より身近なものと感じられるよう、市ホームページ、広報誌、SNS等を活用した情報発信を実施し、継続的にPR活動を行っていくこととする。	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	工事事業者は市の規則による指名競争入札で選定されているため、妥当と考えている。 予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	